

第五十二号



神道青年全国協議会第六十一回定例総会 周年事業賞授賞



第六十二回神宮式年遷宮
遷宮で結ぶ人の輪心の輪

愛媛県神道青年会

事務局 〒796-0065

愛媛県八幡浜市矢野神山510

八幡神社内

TEL 0894-22-0384

FAX 0894-22-2000

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>

卷
頭
言

新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 十 龜 博 行



まず以て謹んで聖寿の万歳と皇室の
弥栄を御祝い申し上げ、各御社頭の御
隆昌、皆様方の御多幸をお慶び申し上
げます。

また本年は畏くも天皇陛下におかせ
られましては御即位二十年・天皇皇后
両陛下におかれましては御成婚五
十年という年をお迎えになり、国民に
とりましても大変喜ばしい年であります。
國民挙つて奉祝の誠心を捧げたく
思います。

さて、一月の臨時総会におきまして、
会長職を一期二年仰せつかる事となり
思います。

ました。二期目という事もあり、初年
度よりは少し落ち着いた形で新年度を
迎えております。前期と変わらず今期
もよろしくお願ひ致します。

去る四月二十三日、東京・赤坂の地

にて高円宮妃殿下の御台臨を仰ぎ「神
青協創立六十周年記念式典」が斎行さ
れました。愛媛県からも八名の会員が
出席し、全国からも約六百人の青年神
職が参加してきました。いつも申し上
げている事ですが、全国規模で行われ
る式典や研修会に参加すると、規模の
大きさでなく、担当される単位会・地
区それぞれの「おもてなしの心」を感
じる事ができます。数多くの皆様が集
まるとき、なかなか目の行き届かない所
が多々あります。でもそれを補う気配
り・目配りがあり、その中に「こころ」
を感じる事ができるのだと思いました。
これは社頭でも言える事でしょう。氏

子さんや信者さん、多岐に渡る皆様が
参拝する神社では「参拝の作法」や「由
緒・沿革」などを尋ねられる事が多々
あります。来て戴いた方が気持ちよく
お参りでき、「毎日来よう」・「また来よ
う」と思つて戴けるように頑張つて行
こうではありませんか。

そして、翌二十四日に行われました

第六十一回定例総会・定例表彰式にお
いて再発足三十五周年事業「愛媛の伝
統文化 I N 道後」が「周年事業表彰」
を受ける事ができました。これも偏に
ご協力・ご賛同戴きました愛媛県神社
庁様をはじめ県内宮司様・神職様、そ
して神道青年会会員の皆様のおかげと
衷心より感謝申し上げる次第です。こ
れを一つの糧として、今後の斯界発展
の為につとめて参りたいと思います。

また、この定例総会において神道青
年全国協議会 春木会長のもと新役員
が選任され、当会の監事・長曾我部昭
一郎君が神青協副会長に、監事・和氣青
年全国協議会 春木会長のもと新役員
が選任され、当会の監事・長曾我部昭
一郎君が神青協理事・広報委員長に就
任しました。当会としてもお一人が全
国の中でも力が發揮できるよう、全力で
サポートしていきたいと思いましてので、
会員皆様のご協力を願いする所であ
ります。

さて、今年度は「会員相互の交流」
は勿論の事、「教化育成」「情報発信」
「他単位会との交流」を積極的に行い
たく計画しています。

「教化育成」についてはこれまでの觀
月・慰問神樂を継続し、今期中に日本
の心・神道の心が発信できる青少年育
成事業を進めて行きたく考えています。

「情報発信」についても従来の「会報『若竹』」や「ホームページ」の活用は勿論の事、色々な方向からできる事を考え、会員内の情報共有に努めて参ります。

親睦交流では「会員相互の交流」として、野外体験親睦会を引き続き行う事と、「会員研修」として、気軽に参加できる設えを考えています。今年度は「AEDの扱い方と、心肺蘇生法」を行います。会員の皆さんに案内をいたしますので是非多くの参加をお待ちしております。また「他単位会との交流」を計画致します。同じ年代・同じ時に青年神職として活躍している各単位会との交流を深め、自己の研鑽と情報交換を行う事で、自身の視野が広がる事と思っています。

今期はこの様な事業を考えておりますが、まずは自身が奉務する神社にて神明奉仕することが第一であります。神職として日々の「祈り」を忘れることがなく、これからも邁進して参りたく思います。

結びに当たり、御社頭の御隆盛と皆様方の御健勝をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

新年・正式参拝・研修会・互礼会報告



平成二十一年の新春を迎え、恒例の年頭正式参拝が愛媛縣護國神社で行われました。十亀会長以下十三名の役員が大前を挙げ、今年一年の決意を英靈の前でお誓い申し上げました。その後、国際ホテル松山に場所を変え、臨時総会が開催されました。臨時総会では、任期満了に伴う役員改正が審議され、会長には昨年度に引き続き十亀博行君が満場一致で再任されました。また、

副会長には長曾我部信弥君、田内逸知君、三輪田尋道君が、事務局長には清家貞文君が選任され新進気鋭の執行体制となりました。この後、新年研修会・互礼会が引き続

いて開催されました。

研修会は、マナー講座I

「お茶の作法」

と題し裏千家より永井宗知先生を迎えてお茶の点て方かた勧め方等、細部に亘りご講義を頂きました。



互礼会では、愛媛県神社庁の長曾我部庁長様を始め、神社庁役員の皆様や青年会OBの皆様をご来賓としてお迎えして、膝を交えて酒を酌み交わしながら神社界の明日を語り明かしました。こうして愛媛県神道青年会は、また新しい船出をしたわけでございますが、今後とも皆様の変わらぬご支援ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

《小野哲也》



慰問神樂



『伊予郡松前町立古城幼稚園』

恒例となりました慰問神樂も本年で十一回目を数え、今年は伊予郡松前町立古城幼稚園に於いて開催されました。当日は、当青年会会員有志、石鎚神社巫女並びに伊予神楽の皆様の御協力を得て十七名が参加しました。

今回は、幼稚園との事前打ち合わせで、演奏時間を三十分～四十五分と調整した演目に。

○悠久の舞（神楽舞）
○弓の舞（伊予神楽）
○越殿樂（管絃・止め手）
○樂器紹介

○大蛇の舞（伊予神楽）

結局は一時間程かかってしまいましたが、やはり、園児が対象ということもあり、前記の時間が限界との事です。思ひ返せば、以前開催された幼児対象の施設では何処でも同じ現象がありましたが、やはり、園児が対象ということです。巫女の舞や伊予神楽等の動きのある演目では園児もジッと見入ってくれるのですが、越殿樂等の動きのない管絃となると、そうはいかないようです。越



- ②次第にその輪は広がりを見せ始め：
- ③決まって男の子が隣の子に軽くパンチを…相手も応戦
- ④互いに段々顔もパンチも真剣になり
- ⑤紛争の勃発！
- ⑥先生、緊急消火！

（参考）我々青年会としては「ここ一番！」の見せ所なのですが…

さて今回は、こうした現象に配慮した演目構成で臨んだ当日午前十時。「優美な「悠久の舞」に始まりアツブテンボな「弓の舞」・厳かな雰囲

介をした後、伊予神楽の「大蛇の舞」へ。突然の鬼の出現に泣き出し、先生に駆け寄り固まる年少組の園児。近くの友達とワイワイ盛り上がる園児の中に、鬼を成敗しようと、自ら引きなりスーパー戦隊のヒーローに変身しかける園児も現れ、お遊戯室は一時騒然とした雰囲気になりました。

「大蛇の舞」の終わりは、先ず一人の園児が。続いて数人の園児が。そして最後に多数の園児の力によつて鬼と相撲を取り、鬼が負けてしまうのです。が、勇敢にも今回最初に鬼に立ち向かつた園児は、既に身も心も変身してしまったスーパー戦隊のヒーロー。もう



の演劇を止め手で。初めて触れる雅楽と神楽の舞と音色にグツと入りつきました。続いて行われた「樂器紹介」で各打ち物や樂器の紹介で、各打物の紹介が行われました。この舞と音色の「越殿樂」の演奏を止める手で。

止まりません。敢然と立ち向かうその勇姿と戸惑う鬼の姿に、会場からは惜しみない拍手と園児の声援が響き渡っていました。

演奏の結びには、十亀会長が余興の一つとして龍笛で「アンパンマン」の演奏を行い、園児も大きな声で合唱し、園内は平和な雰囲気で幕を閉じました。最後に、今回の慰問神楽を成功に納め、御協力賜りました伊予郡松前町立古城幼稚園の園長 山崎先生、PTA会長の二宮様をはじめ、関係各位の皆様に感謝申し上げます。



《櫛部 浄之》



我々、青年会
会員は舞台装置
の搬入・片付け
と裏方のお手伝
いをさせて頂き
ました。

引き続き記念
公演として女優
浅野温子の語り
舞台『日本神話
への誘い』が行
われ盛況裡に終
ました。

平成二十一年二月十一日、ひめぎんホール（愛媛県県民文化会館）に於いて約三千名が参集し開催されました。大会では重松会長の式辞と名誉会長加戸守行愛媛県知事の祝辞を賜り、当会監事 長曾我部昭一郎君が司会を務めました。

天皇陛下御即位二十年 奉祝愛媛県民大会 建国記念の日奉祝大会助勢報告



《後藤 雅彦》



この度、初めて神道青年全国協議会中央研修会に参加させて頂きました。貴重な経験をさせて頂きました。平成二十年度は神道青年東海地区協議会主管、愛知県神道青年会担当として去る平成二十一年三月十日・十一日の両日、名古屋駅に在る名古屋マリオットアソシアホテルにて開催され、当会より八名の会員が参加しました。

平成二十年度 中央研修会／愛知 神道青年全国協議会



今回の研修テーマ「修理固成せ」
国づくりは人づくり、

摸索から実践への主題のもと開講。

第一講では、日本国際博覧会「愛・

地球博」の「からくりモニュメント」

日本の塔「月」等、和洋共生をモチー

フに数多くの作品を制作される造形作

家アート・プロデューサー夢童由里

子先生が「モノづくり・まちづくり・

夢づくり」と題し、名古屋に因んだ活

動として、尾張藩初代藩主徳川義直公

の正室、春姫の「春姫道中」行列や、

春姫が本丸御殿に居住した唯一の女性

であることから、今は旧跡となつた名

古屋城本丸御殿の復元建設等を行い、

それらが再建イベントの一つとなり小

さな活動から大きな活動へ、その行動

力から人の輪までつくる求心力につい

て等を講演されました。

第二講では、中京女子大学レスリン

グ部監督 日本レスリング協会女子教

化委員長 栄和人先生が「目標をもつ

た人づくり（金メダルを目指す師弟関

係）と題し、大きな目標を持ち厳し

くも愛情のある練習風景を講演され、

続く質疑応答では、北京・アテネオリ

ンピック金メダリスト 吉田沙保里先



△玉井 安胤△

中、夢追い人として夢を追いつづける
向上心を語られました。

翌日、第三講では、皇學館大学社会

福祉学部長・教授 櫻井治男先生が「地

域社会の元気を神社から取り戻さう

と題し、現在の地域社会の現状、その

地域と神社との深い繋がりを、レジユ

メを基に御講演されました。

この研修を受講し、未曾有の大不況
といわれる、このめまぐるしく変化す
る世の中でも地域社会と共に、今回の研
修テーマ、人をつくりそして国をつく
る事を一人一人が考え、今できること
を模索し実践へと結びつけなければな
らないと感じました。

最後にこの研修会の担当として御尽
力いただきました愛知県神道青年会を
始め神道青年東海地区協議会の皆様に
は御礼の言葉を申し上げ、ご報告と致
します。

た。

今大会は第一

部【記念式典】

第二部【記念講演】

第三部【記念祝

賀会】にて構成祝

されていました。

第一部【記念

式典】では神道

神道青年全国協議会 創立六十周年記念大会

厳粛且つ盛大に開催

平成二十一年四月二十三日、東京都
千代田区のグランドプリンスホテル赤
坂を会場として神道青年全国協議会（久
富真人会長）の創立六十周年記念大会
が開催されました。



記念大会は畏くも高円宮妃殿下の御
台臨を仰ぎ、神宮大宮司鷹司尚武様・
神社本庁総長矢田部正巳様を始め神社
関係各位また記念講演講師であります
靖國神社崇敬奉賛会長扇千景先生、參
議院議員山谷えり子様、參議院議員あ
りむら治子様ご臨席の元、会員を含め
約六百名が一堂に会し執り行われまし

た。

今大会は第一

部【記念式典】

第二部【記念講演】

第三部【記念祝

賀会】にて構成祝

されていました。

第一部【記念

式典】では神道

久富真人会長の開式の辞に始まり、記念表彰が行われ、愛媛県神道青年会からは、神青周年事業表彰規定第四条第二号表彰にて三輪田泰生様（和靈神社禰宜）また四号表彰にて武智正人様（石鎧神社権宮司）、眞鍋豊孝様（伊豫豆比古命神社権禰宜）が表彰されました。誠におめでとうございます。

その後に高円宮妃殿下のお言葉を賜り、神社本庁統理久邇邦昭様（代読－総長矢田部正巳様）、神宮大宮司鷹司尚武様の祝辞を頂き、閉式の辞をもつて閉幕しました。

第二部【記念講演】では靖國神社崇敬奉贊会長扇千景先生による「日本の昨日、今日、明日」の演題にて今、日本が置かれている立場、状況などを様々な視点からのお話の中、青年神職へ温かい言葉を頂きました。

第三部【記念祝賀会】にも高円宮妃殿下の御台臨を仰ぎ、盛大に賑々しく行われ、一同の親睦を深めました。神道青年全国協議会は昭和二十四年に産声を挙げ、諸先輩方の尽力により創立六十周年の誉れの年を迎えました。これからも益々のご発展を祈念申し上げ、ご報告とさせていただきます。

《矢野 忠臣》



愛媛県神道青年会 出席者

会長	十亀 博行
副会長	長曾我部 信弥
理監事	後藤 雅彦
理事	櫛部 浄之
監事	和氣 省一
事務局長	長曾我部 昭一郎
会員	清家 貞文
矢野 忠臣	

神青協第六十一回定例総会

大変盛り上がった神青協創立六十周年記念大会の翌四月二十四日、神社本庁二階大講堂に於いて神道青年全国協議会第六十一回定例総会が開催されました。

今回の総会は任期満了に伴い、新しい役員の選出という重要な会であります。

先ず総会に先立ち定例表彰式が行われ、当会の「愛媛の伝統文化IN道後」が「周年事業賞」に選ばれ、久富神青協会長から十亀愛媛神青会長に賞状を授与されました。

続いて総会が始まり、平成二十年度の会務報告、一般会計決算書、各種収支計算書、監査報告などがあり、何れも満場一致で承認されました。

そして久富会長（福岡）の退任挨拶後、春木秀紀新会長（熊本）の挨拶・活動方針の説明があり、副会長並びに理事・事業計画・予算案の承認を受けました。

本期は愛媛から当会長曾我部昭一郎監事が副会長に、当会和氣省一監事が地区理事に選出されました。

最後に総会決議が上程され、満場一致で採択されました。その決議文を記し総会報告とさせて戴きます。

平成二十一年度定例総会決議

第六十一回定例



総会にあたり、我々青年神職は、創立六十周年記念式典に於いて高円宮妃殿下より賜つた、

「我が国や世界の諸問題・平和について考へられる時に、行動も大切ですが、神職としての最も大切なおつとめが『祈り』だといふことを決してお忘れにならないやう」とのお言葉を体して、神職の本義に徹し、本会創立の精神に基づく諸活動に邁進し、以て真の世界平和と神道興隆に寄与することを期する。

右、決議する。

平成二十一年四月二十四日

神道青年全国協議会
第六十一回定例総会

《清家貞文》

第三十八回定期総会報告



去る五月十二日(火)、国際ホテル松山に於いて平成二十一年度第三十八回定期総会が午後五時定刻より、二十名の会員の出席(委任三十八名)にて開会されました。

十亀会長の挨拶の後、議長が選出され議案審議に移りました。今回の議案は平成二十年度会務報告・会計報告・監査報告がなされ、続いて二十年度活動計画案・予算案が審議されました。すべての議案において適切な報告を受け慎重な審議を行った結果、全会一致で承認され、円滑に進められた定期総会は無事閉会致しました。

総会の後、長曾我部延昭庁長を始め当会に関わり深い諸先輩方の御出席を賜り懇親会が催されました。十亀会長

の挨拶、本年度より神道青年全国協議会副会長に任命なされた長曾我部監事の挨拶の後、長曾我部延昭庁長より熱い御言葉を戴き、会員総員気持ちの高ぶる中、本会OBの後藤先輩の乾杯を以て実りある懇親会を行うことができました。今回は懇親会の中で昨年度活動内容をスライドショーで紹介する新しい試みがなされ、本会の雰囲気や活動内容をより出席者に伝える事ができましたのではないかと思いました。また、

二名の新入会員の出席もあり、お酒をくみ交わしあう中で新しい仲間との絆を築き上げる事もできた懇親会でした。しかし残念ながらまだ出席者が少なく、活動の幅も限られているのが現状であります。斯界は人との繋がりが大切な界だと思います。青年会はその繋がりを作るには絶好の場所であり、活動の中で接する方や、諸先輩方との関わりの中で自分自身も大きく成長することのできる場所です。

今この時期は今しかありません。本年度も様々な活動を行うので、参加できる特権を無駄にすることなく、斯界発展の為にもより多くの方に本会の活動参加を宜しくお願い致します。

《宇都宮 宗平》

平成二十年度会務報告

起 平成二十年四月一日
至 平成二十一年三月三十一日

平成二十年

十一日	六月	二十八日	二十四日	二十六日	五月	十四日	四月	十日	四月
神道青年四国地区協議会		今上陛下御即位二十年奉祝事業 (清家理事出席)	神道青年全国協議会六十周年記念事業 神主さんの伊勢街道参宮団 全國の“こころ”を絵馬に託して	建国記念の日奉祝愛媛県実行委員会 (十亀会長出席)	第一回役員会【中予 伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下十二名出席)	第二回役員会【高知県 天満宮】 (十亀会長以下四名出席)	第三回役員会【松山市】 (十亀会長以下十一名出席)	第四回役員会【南予 八幡神社】 (十亀会長以下十七名出席)	第五回役員会【全 パールの間】 (十亀会長以下十名出席)
					第一回役員会【中予 伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下十一名出席)	第二回役員会【高知県 天満宮】 (十亀会長以下四名出席)	第三回役員会【松山市】 (十亀会長以下十名出席)	第四回役員会【全 パールの間】 (十亀会長以下十名出席)	
					第一回役員会【中予 伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下十一名出席)	第二回役員会【高知県 天満宮】 (十亀会長以下四名出席)	第三回役員会【松山市】 (十亀会長以下十名出席)	第四回役員会【全 パールの間】 (十亀会長以下十名出席)	
					第一回役員会【中予 伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下十一名出席)	第二回役員会【高知県 天満宮】 (十亀会長以下四名出席)	第三回役員会【松山市】 (十亀会長以下十名出席)	第四回役員会【全 パールの間】 (十亀会長以下十名出席)	

十一日	六月	二十八日	二十四日	二十六日	五月	十四日	四月	十日	四月
神道青年四国地区協議会		今上陛下御即位二十年奉祝事業 (清家理事出席)	神道青年全国協議会六十周年記念事業 神主さんの伊勢街道参宮団 全國の“こころ”を絵馬に託して	建国記念の日奉祝愛媛県実行委員会 (十亀会長出席)	第一回役員会【中予 伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下十二名出席)	第二回役員会【高知県 天満宮】 (十亀会長以下四名出席)	第三回役員会【松山市】 (十亀会長以下十名出席)	第四回役員会【全 パールの間】 (十亀会長以下十名出席)	第五回役員会【全 パールの間】 (十亀会長以下十名出席)
					第一回役員会【中予 伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下十一名出席)	第二回役員会【高知県 天満宮】 (十亀会長以下四名出席)	第三回役員会【松山市】 (十亀会長以下十名出席)	第四回役員会【全 パールの間】 (十亀会長以下十名出席)	
					第一回役員会【中予 伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下十一名出席)	第二回役員会【高知県 天満宮】 (十亀会長以下四名出席)	第三回役員会【松山市】 (十亀会長以下十名出席)	第四回役員会【全 パールの間】 (十亀会長以下十名出席)	
					第一回役員会【中予 伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下十一名出席)	第二回役員会【高知県 天満宮】 (十亀会長以下四名出席)	第三回役員会【松山市】 (十亀会長以下十名出席)	第四回役員会【全 パールの間】 (十亀会長以下十名出席)	

二日	九月	二十八日	二十四日	二十六日	七月	十四日	四月	十日	四月
日本会議愛媛県本部		神道青年四国地区協議会	第十四回定例総会並びに研修会	正式参拝	第一回講師 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮について」 【全】	第二回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮と日本人の心」 【全】	第一講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】
					第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮と日本人の心」 【全】	第二回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】
					第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮と日本人の心」 【全】	第二回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】
					第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮と日本人の心」 【全】	第二回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】	第一回講師 皇學館大学 教授 白山芳太郎先生 題「神宮式年遷宮研修会」 【国際ホテル】

四日	神道青年四国地区協議会 （十亀会長出席） 準備会
五日	神道青年四国地区協議会 第二回役員会 （阿部副会長以下二名出席）
十二日	第二十六回観月神楽の夕べ 【東温市 浮嶋神社宮司 相原 宗正様】
十八日	第五回役員会 （十亀会長以下二十一名出席） 【愛媛県神社庁】
十月	二十日 神道青年全国協議会 英靈顯彰事業 「戦没学徒に関する研修会」 （十亀会長以下十三名出席） 二十一日 初詣啓発ボスター準備 【愛媛県神社庁】 （十亀会長以下十二名出席）
全	第一講 講師 皇學館大学 理事長 上杉 千郷 先生 演 題 「学徒出陣について」 第二講 講師 株独立総合研究所 社 長 青山 繁晴 先生 正式参拝 伊弉諾神宮 全國戦没学徒追悼祭 （十亀会長以下二名出席） 愛媛県神社庁定例協議員会 【愛媛県神社庁】 （十亀会長出席） 第三十二回育樹祭並に県内事情御視察の為 御来県に付き皇太子殿下奉送迎 【県内各所】
二十四日	二十五日 （二十七日） 二十九日 全
十一月	三島森田両烈士追悼三十七周年慰靈祭 （十亀会長以下十名奉仕会員二名参列） 講 師 愛媛県神社庁参事 石丸剛司先生 演 題 「パソコン研修」 （十亀会長以下九名出席） 第二回勉強会 （十亀会長以下十一名出席） 第六回役員会 （愛媛県神社庁） 【伊豫豆比古命神社境内】
二十五日	

二十四日	十日	平成二十年度 神道青年全国協議会	【愛知県】
	十一日	中央研修会	造形作家アートプロデューサー 夢童由里子先生
	三月	第一講 講師	第一講 講師 中京女子大学レスリング部 監督 栄 和人先生 吉田沙保里先生
		第二講 講師	演題 「モノづくり・まちづくり 夢づくり」
		第三講 講師	演題 「目標をもった人づくり」 皇學館大学 教授 櫻井治男先生
		十六日	演題 「地域社会の元気を 神社から取り戻そう」 (十亀会長以下八名出席)
		二十五日	第十回役員会 【中予伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下十四名出席)
		二十六日	神道政治連盟第七回時局対策連絡会議 【自由民主党本部】
四月	八日	平成二十年度会計監査会	【伊豫豆比古命神社】 (十亀会長以下四名出席)
皆様方に御協力を賜り会務が遂行出来ました事に 深謝致します			
会長十亀博行			

ホームページアドレス <http://www.ehimeshinsei.net/>

愛媛県神道青年会 平成20年度一般会計歳入歳出決算書
自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日

歳入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	増減(△減)	付記
1 会費	800,000	606,000	△ 194,000	年会費・第37回定時総会費・新年研修会費
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁助成金
3 寄附金	1,300,000	1,647,000	347,000	県内神職寄附金・諸事業助成金
4 雑収入	349,595	982,630	633,035	神青協事業還付金・事業収入
5 繰越金	350,405	350,405	0	平成19年度より
歳入合計	3,000,000	3,786,035	786,035	

歳出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	増減(△減)	付記
1 会議費	750,000	594,085	△ 155,915	第37回定時総会・臨時総会・新年互礼会・役員会・地区協役員会
2 研修教化	550,000	642,091	92,091	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修会参加助成費他
3 事業費	555,000	983,625	428,625	初詣啓発ポスター作成費・床几作成費・盛塙器作成費他
4 広報費	250,000	272,840	22,840	若竹50号／51号作成費及び発送費・HP維持費他
5 事務費	120,000	119,336	△ 664	事務用品・寄附金其の他振替手数料
6 備品費	10,000	0	△ 10,000	
7 旅費	360,000	360,000	0	神青協第60回定例総会／臨時総会出向費・神青協役員補助費
8 慶弔費	40,000	51,656	11,656	慶弔費・電報費
9 分担費	280,000	286,000	6,000	神青協／地区協議会出金・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	10,000	6,153	△ 3,847	
12 予備費	25,000	0	△ 25,000	
歳出合計	3,000,000	3,365,786	365,786	

歳入合計 3,786,035円

歳出合計 3,365,786円

差引残高 420,249円

平成21年度に繰越

愛媛県神道青年会

会長 十亀 博行 提出

平成21年4月8日

平成21年4月8日

上記の通り相違ない事を認めます

監事 和氣省一

監事 長曾我部昭一郎

愛媛県神道青年会 平成21年度一般会計歳入歳出予算書

自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

歳入の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付記
1 会費	800,000	750,000	△ 50,000	年会費・定時総会費・新年互礼会費・監査会慰労会費
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄附金	1,300,000	1,300,000	0	県内神職寄附金・諸事業援助金
4 雑収入	349,595	329,751	△ 19,844	神青協事業還付金・事業収入
5 繰越金	350,405	420,249	69,844	平成20年度より
歳入合計	3,000,000	3,000,000	0	

歳出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	増減(△減)	付記
1 会議費	750,000	700,000	△ 50,000	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研修教化	550,000	650,000	100,000	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修会参加助成費他
3 事業費	555,000	530,000	△ 25,000	初詣啓発ポスター・床几、盛塙器頒布事業
4 広報費	250,000	270,000	20,000	若竹52号／53号作成費及び発送費
5 事務費	120,000	120,000	0	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備品費	10,000	10,000	0	
7 旅費	360,000	320,000	△ 40,000	神青協総会・神青協役員旅費補助
8 慶弔費	40,000	40,000	0	慶弔金・電報代
9 分担費	280,000	280,000	0	神青協及び地区協議会出金・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	10,000	10,000	0	
12 予備費	25,000	20,000	△ 5,000	
歳出合計	3,000,000	3,000,000	0	

歳入合計 3,000,000円

歳出合計 3,000,000円

差引残高 0円

平成21年4月8日

愛媛県神道青年会役員会 提出

平成二十一年度活動計画

四月八日	平成二十一年度会計監査会 【伊豫豆比古命神社】		十月	神道青年四国地区協議会 【愛媛県】	
八日	第一回 役員会 【全】		九月十六日	初詣啓発ボスター発送作業 【伊豫豆比古命神社】	
二十三日	神道青年全国協議会		九月十六日	第五回 役員会 【伊豫豆比古命神社】	
二十四日	創立六十周年記念式典 【グランドプリンスホテル赤坂】		十月	会員研修会(AED・心肺蘇生法)【伊豫豆比古命神社】 【南予】	
五月十二日	第六十一回定例総会		十一月二十五日	第六回 役員会 【伊豫豆比古命神社】 【全】	
全	第二回 役員会 【国際ホテル松山】		十二月	第七回 役員会 【伊豫豆比古命神社】 【全】	
六月八日	第三十八回 定時総会並びに懇親会 【全】		三島森田両烈士慰靈祭	第三回 役員会 【徳島県】	
六月十日	神道青年四国地区協議会		神道青年四国地区協議会	親睦ボウリング大会 【香川県】	
六月	第一回役員会 【伊曾乃神社】		親睦ボウリング大会	第八回 役員会 【国際ホテル松山】	
七月十五日	会報「若竹・第五十二号」発刊		会報「若竹・第五十三号」発刊	新年研修会・新年互礼会 【全】	
全	第四回 役員会 【伊豫豆比古命神社】		新年研修会・新年互礼会	第九回 役員会 【東予】	
八月六日	県外単位会交流会		新年研修会・新年互礼会	第十回 役員会 【南予】	
八月七日	神道青年四国地区協議会		新年研修会・新年互礼会	第二十五回 観月神楽の夕べ 【三奈良神社】	
八月十日	第十四回 定例総会並びに研修会 【高知県】		新年研修会・新年互礼会	第二十七回 観月神楽の夕べ 【三奈良神社】	
八月	野外体験親睦会 【北宇和郡・成川渓谷】		新年研修会・新年互礼会	神道青年全国協議会	
九月九日	神道青年全国協議会		新年研修会・新年互礼会	平成二十一年度 夏期セミナー 【東京都】	
九月六日	平成二十一年度 夏期セミナー 【東京都】		新年研修会・新年互礼会	※(未定) 慰問神楽	
九月九日	神道青年四国地区協議会		新年研修会・新年互礼会	●その他、役員会にて議案審議	
第十二回神道行法鍊成会 石鎚神社 【愛媛県】			新年研修会・新年互礼会		

三島神社	金・壹萬圓也	森本隆夫殿
神社序	総社大明神社	大洲喜多支部殿
三嶋神社	宇和島支部	中清之殿
八幡神社	宇和島市分会	殿
金・伍阡圓也	和氣利雄殿	殿
天満神社	阿部康茂殿	殿
宇都宮神社	宮本稚秋殿	殿
神社序	宮岡賢二郎殿	殿
賀茂神社	南宇和郡支部殿	殿
諏訪神社	上甲則殿	殿
神社序	石村聖殿	殿
金・参阡圓也	宇和島支部北宇和分会殿	殿
大本神社	大川實殿	殿
金・武阡圓也	菊池國興殿	殿
三島神社	西河光男殿	殿
湯嶋天神社	高曾我部延昭殿	殿
金・壹萬圓也	長曾我部延昭殿	殿
第三十七回 定時總会 御祝		
後藤正宜	眞清柳家	愛媛県神社序
伊豫豆比古命神社	鍋貞	眞鍋和
愛媛縣護國神社	豐孝	波爾
嚴島神社	宏宰	長曾我部延昭殿
大宮八幡神社	敏	莊殿
八幡神社	殿	殿
伊豫豆比古命神社	殿	殿
高忍日賣神社	殿	殿

客王神社	金・伍阡圓也	横田貞子殿	二神良昌殿
井手神社	愛媛県女子神職会殿	長曾我部延昭殿	第二十五回 観月神楽の夕べ 御祝
伊豫豆比古命神社	新年互礼会 御祝	十亀興美殿	金・壱萬圓也
愛媛縣護國神社	石鎧神社	小川純生殿	愛媛県神社庁殿
伊曾乃神社	伊豫豆比古命神社	井上千賀司殿	長曾我部延昭殿
高忍日賣神社	朝日八幡神社	眞鍋豊孝殿	愛媛県神社庁殿
多賀神社	三島神社	神野田保内一弘宜殿	長曾我部延昭殿
原八幡大神社	原八幡大神社	良敬充盛邦浩殿	愛媛県神社庁殿
客王神社	客王神社	昌陽邦浩殿	長曾我部延昭殿
三島神社	三島神社	殿	愛媛県神社庁殿
御賛同の上	御賛同の上	殿	愛媛県神社庁殿
御寄附を賜り深謝致します。	御寄附を賜り深謝致します。	殿	愛媛県神社庁殿
会長 十亀博行	会長 十亀博行	殿	愛媛県神社庁殿

青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えた先輩方をご紹介致します。

和靈神社 櫻宜（元会長）	三輪田 泰生 様
八幡神社 宮司（元副会長）	小野 哲也 様
三島神社 櫻宜（元理事）	一宮 利史 様
勝岡八幡神社 櫻宜	武智国吏 様
八幡神社 櫻宜	石野 春樹 様

永年に亘り当会の活動にご尽力賜りまして誠に有難う御座いました。会員一同感謝申し上げます。
今後も尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に益々のご活躍をご祈念申し上げます。

会員研修会の案内

神道青年四国地区協議会

第十一回

神道行法鍊成会のご案内

愛媛県神道青年会では、青年神職の更なる研鑽の為、研修会を開催致します。

今回は、『AED』（自動体外式除細動器）についての研修を行います。

平成十六年から、一般の人にも使用が認められ、様々な場所に設置されるようになりました。いつ何時これを必要とする時が来るかもしれません。

『AED』に関する知識を有することが非常に重要とされています。多くの会員と共に、基礎知識を含め、使い方を研修したいと思います。

後日、会員の皆様には詳細について案内を差し上げますので、沢山の参加をお願いします。

日 時 平成二十一年九月九日(水曜日)
場 所 西条市西田甲七九七
石鎚神社 懇親会

詳細な内容、日時等につきましては、HP等で随时お知らせして参ります。

アサヒビール園

西条市

本年の神道青年四国地区協議会神道行法鍊成会は愛媛県の担当となります。鍊成会にて身も心も祓い清め、懇親の場では、胸襟を開いて懇親を深め、愛媛の輪・四国の輪を広げて今後に繋げまいりたいと思います。

四国より多くの青年会会員に来て頂きますよう、本県会員総出を上げてお出迎えしたいと思いますので、ご参加・

ご協力をお願いします。

～愛媛県神道青年会主催～
『第6回 野外体験親睦会 in 成川渓谷』

【とき】 平成21年8月10日(月)先勝 三隣亡

【ところ】 愛媛県北宇和郡鬼北町大字奈良

【趣旨】 大自然にふれ、会員相互の親睦はもとより、会員の家族子弟を含めた親睦を深めることを目的とする。

【参加資格】 愛媛県神道青年会役員・会員・O B、またその家族・子弟、当県神社界に携わる者。

【概要】 8月10日 集合時間：午前10時を目安に随時集合

集合場所：成川渓谷キャンプ場

住所 愛媛県北宇和郡鬼北町大字奈良 電話 0895-45-1111

H P <http://www.town.kihoku.ehime.jp/shokai/midokoro/>

宿泊施設：ロッジにて宿泊(前泊希望者のみ)

宿泊費 目安は 大人1人3,000円 小学生以下1人1,000円

B B Q : 12時～

場 所：成川渓谷キャンプ場 住所 愛媛県北宇和郡鬼北町大字奈良

【注意事項】 会費を超える予算の取り扱いについては参加者全員での分担となります事をご理解下さい。尚、開催地までの交通費は自己負担となります。

【必要経費】 参加費未定 目安は 大人1人 2,000円 小学生以下 1,000円

【その他】 愛媛県神道青年会主催ではありますが参加者全員で作り上げる行事ですので皆様の寛大な心でのご協力ををお願い申し上げます。

【参加申し込み】 締め切り日は7月7日とします。出来るだけ早めにお願いします。

但し、前泊希望の方は現地の予約状況により予約が取れない場合があるため至急ご連絡ください。

下記のFAX用紙にてお申し込み下さい。

FAX 0895-22-1282 八幡神社 渡部 太輔

【お問い合わせ】 愛媛県神道青年会 渡部 太輔 090-7623-8623

※ 台風、災害等、安全確保出来ない状況の場合は中止とさせていただきます。

※ 当日の催し物は、バーベキュー、スイカ割り、川遊び、温泉など、計画しております。その他リクエストがございましたら、申し込み用紙にお書き添え下さい。

平成21年度愛媛県神道青年会 第6回野外体験親睦会 in 成川渓谷 参加申込書

申込日 平成 年 月 日

代表者住所	(〒 - - -) 愛媛県					
携帯電話番号						
代表者氏名		男 女	昭和 平成	年	月	日生
氏名		男 女	昭和 平成	年	月	日生
氏名		男 女	昭和 平成	年	月	日生
氏名		男 女	昭和 平成	年	月	日生
ご意見 ご要望						

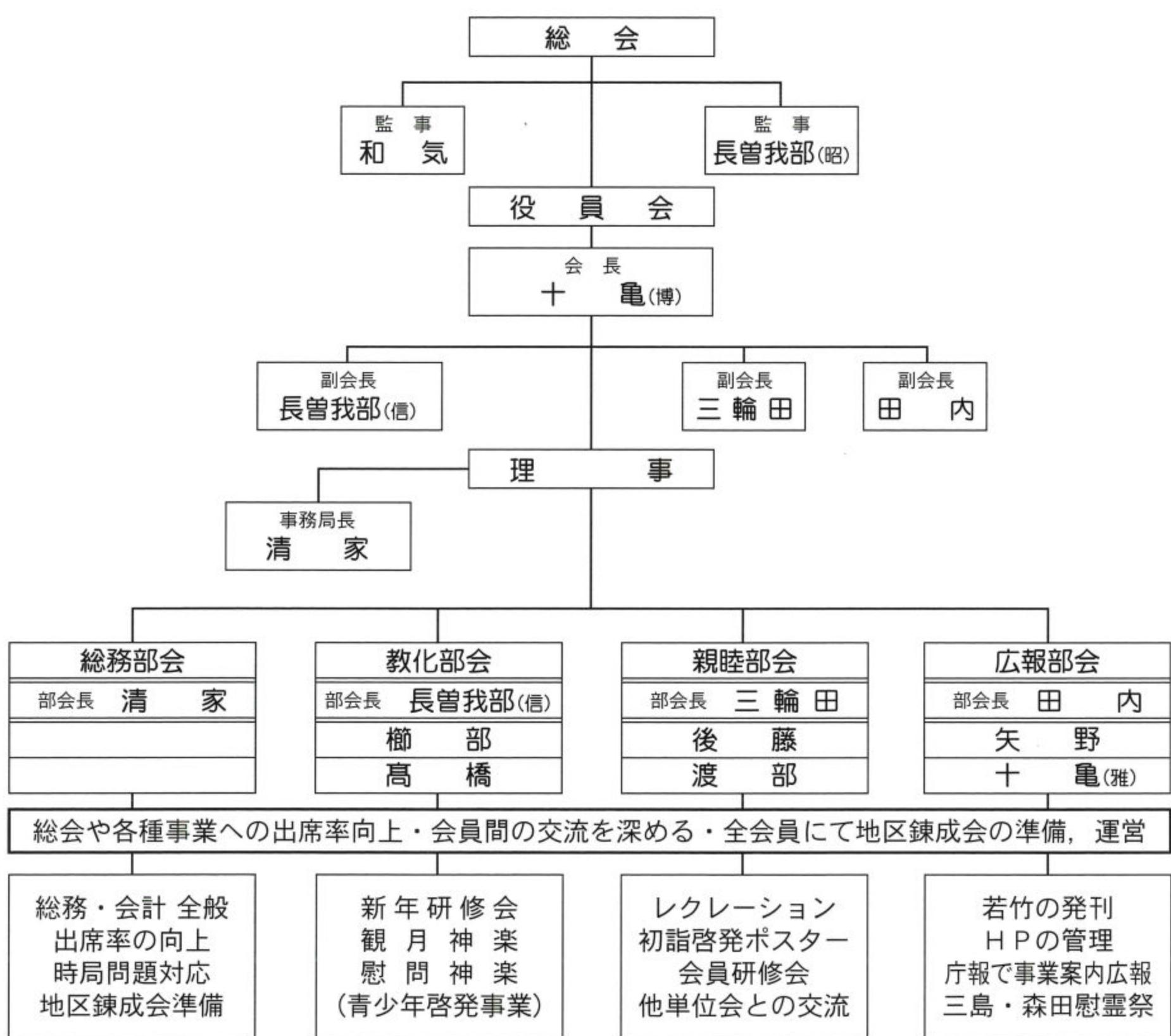
監事 尚	監理 和氣	監理 高橋	監理 十十渡	監理 矢後	監理 櫛藤	監理 清家	事務局長 三輪田	副会長 内逸	副会長 亀田	副会長 博信	副会長 弥知	会長 行道	会長 博弥	会長 長曾我部	会長 十亀	会長 博行	会長 長曾我部	会長 博行	会長 長曾我部	会長 博行	会長 長曾我部	会長 博行	
事長 曾我部	事事 高橋	事事 亀部	事事 野藤	事事 藤部	事事 家	事事 静貞	事事 文道	事事 道知	事事 亀田	事事 博行	事事 弥知	事事 長曾我部	事事 十亀	事事 博行	事事 長曾我部	事事 博行							
各々就任致しました。	和氣監事は神道青年四国地区協議会 長曾我部監事は神道青年全国協議会	昭省政一郎	高橋雅一(伊豫豆比古命神社 社權宮司)	十渡太裕(伊曾乃神社 社權宮司)	野藤泰史(石鎧神社 社權宮司)	藤部雅輔(八幡大神社 宮司)	家彦(大龜八幡大神社 宮司)	静貞(伊豫豆比古命神社 社權宮司)	文之(石鎧神社 社權宮司)	道彦(八幡神社 社權宮司)	道知(東雲神社 宮司)	亀田博(和靈神社 社權宮司)	田内逸(和靈神社 社權宮司)	亀田信(東雲神社 宮司)	亀田博(和靈神社 社權宮司)								
尚、和氣監事は神道青年四国地区協議会 長曾我部監事は神道青年全国協議会	各々就任致しました。	和氣監事は神道青年四国地区協議会 長曾我部監事は神道青年全国協議会	昭省政一郎	高橋雅一(伊豫豆比古命神社 社權宮司)	十渡太裕(伊曾乃神社 社權宮司)	野藤泰史(石鎧神社 社權宮司)	藤部雅輔(八幡大神社 宮司)	家彦(大龜八幡大神社 宮司)	静貞(伊豫豆比古命神社 社權宮司)	文之(石鎧神社 社權宮司)	道彦(八幡神社 社權宮司)	道知(東雲神社 宮司)	亀田博(和靈神社 社權宮司)	田内逸(和靈神社 社權宮司)	亀田博(和靈神社 社權宮司)								
尚、和氣監事は神道青年四国地区協議会 長曾我部監事は神道青年全国協議会	各々就任致しました。	和氣監事は神道青年四国地区協議会 長曾我部監事は神道青年全国協議会	昭省政一郎	高橋雅一(伊豫豆比古命神社 社權宮司)	十渡太裕(伊曾乃神社 社權宮司)	野藤泰史(石鎧神社 社權宮司)	藤部雅輔(八幡大神社 宮司)	家彦(大龜八幡大神社 宮司)	静貞(伊豫豆比古命神社 社權宮司)	文之(石鎧神社 社權宮司)	道彦(八幡神社 社權宮司)	道知(東雲神社 宮司)	亀田博(和靈神社 社權宮司)	田内逸(和靈神社 社權宮司)	亀田博(和靈神社 社權宮司)								

二年間、宜しくお願ひ申し上げます。

任期 平成二十一年四月一日～
平成二十三年三月三十日

愛媛県神道青年会 新体制

平成21年度 愛媛県神道青年会 組織図



新入会員紹介

龍王神社 権禰宜

善家祐二



A portrait of a man with dark hair and glasses, wearing a dark suit and tie. The portrait is set within a circular frame.

石鎚神社 権禰宜
玉井安胤



A black and white portrait of a young man with short dark hair, wearing a white collared shirt. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a plain, light-colored wall.

嚴島神社
卯 築 宜

柳原永祥



この度、博多総鎮守櫛田神社
権禰宜を辞し、郷里の嚴島神社
禰宜を拝命致しました。もとよ
り浅学非才の身ではござります
が、斯道の隆昌の為に微力を尽
くす所存ですので、
何卒宜しくお願ひ申し上げます

吹揚神社
田 窪 大 朗 櫛宣



この度、田窪大朗は、四月より実家の吹揚神社の禰宜として奉職することになりました。今まで神社界を引っ張つて下さいました諸先輩方の足を引つぱらぬよう、これから励んでいきたいと思います。よろしくお願ひ致します。

安藤神社
水口陽介



以上計五名の新入会員です。神社界の諸問題、並びにその他の社会問題に関心を持つて頂き、斯界の尖兵として、共に学んで励んで頂きますよう期待し

ています。
先ずその前に、青年会の諸行事に出来るだけ参加頂き、先輩諸賢はもとより我々同世代の神職と親睦を深めて頂きたいと存じます。共に頑張りましょう。

編集後記

今号の若竹から編集担当になりました。広報部会の十亀雅史と申します。このような編集作業は不慣れで、表現力・創造性に乏しい私ではありますが、これから頑張つていきたいと思います。本期は愛媛県より監事二名が、全国協議会の副会長・四国地区の会長の重責を担うことになりました。

冒頭の会長挨拶にもありますたが、愛媛県の会員との繋がりを深めつつ、国内外の青年会の人達との親睦・交流を深めることで、私達の視野も広がつていいくと思います。それにより、この若竹の紙面・内容もより一層充実したものになるのではないかと考えております。

各行事には多くの会員と共に参加し、大きな輪を作つていきましょう！

役員も新体制となり出発を致しました。会長を扇の要として役員一同力を合わせ、会の発展・自己研鑽に邁進する所存でござりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。